

平成 28 年度 地域文化学（宮島学）

平成 28 年度の「地域文化学（宮島学）」は次のような内容でおこない、国際文化学科 2 年生を中心に 50 名の学生が受講しました。

1 授業内容

回	テーマ	担当
1	「地域文化学（宮島学）」とは	大知 徳子
2	厳島の舞楽とアジアの文化交流（1）	柳川 順子
3	厳島の舞楽とアジアの文化交流（2）	柳川 順子
4	宮島でのフィールドワーク	
5	宮島でのフィールドワーク	
6	平家納経の世界	西本 寮子
7	平清盛の経済施策と厳島神社信仰	鈴木 康之
8	宮島にもたらされた陶磁器	鈴木 康之
9	藤原神主家と友田興藤	秋山 伸隆
10	毛利氏の厳島信仰	秋山 伸隆
11	近世宮島の賑わい	大知 徳子
12	広島城下の商家・保田忠昌と厳島	西本 寮子
13	世界遺産厳島神社・原爆ドーム	秋山 伸隆
14	大聖院蔵「厳島図屏風」の楽しみかた	大知 徳子
15	外国人が見た明治・大正時代の宮島	天野 みゆき

2 フィールドワーク

（1）室浜砲台跡フィールドワーク

明治時代に宮島に設置された室浜砲台跡を訪れ、近代の宮島の歴史とともに、明治期の要塞建築についても学びました。

（2）グループ課題フィールドワーク

天候状況によりフィールドワークは中止となりましたが、「宮島の暮らし」をテーマとしたグループ調査とレポート提出をおこないました。

（3）管絃祭フィールドワーク

管絃祭を見学しながら、観光協会のスタッフや宮島学園の教職員らとともに長浜神

社に戻る御座船を迎えるための提灯 1200 個を作成し、観光客に配りました。

28 年度のフィールドワークでは、学生たちは次のテーマにそって現地調査をおこないました。

- ① 管絃祭の歴史や祭りの見所を観光客にわかりやすく解説するパンフレットの作成
- ② 「経尾経塚」の調査